

評価領域	情報提供
------	------

重点目標	「学校報」「学年だより」「保健だより」等で家庭、保護者への情報提供に努める。	P
現 状	<p>生徒の日常活動の様子（学習・部活動・各種行事等）を家庭、保護者に提供することは、学校への理解と協力を得られる唯一の手段であり、保護者の関心も高い。</p> <p>特に、生徒の良さやがんばりを伝えたり、家庭教育に関する情報や進路の情報など、多様な情報を家庭・保護者は期待している。</p>	
具体的な目標	内容を工夫し、「学校報」「学年だより」を年間30号以上発行、「保健だより」を年間10号以上の発行をする。	
目標達成のための方策	<p>① 生徒の各種活動を観察、情報収集（良さやがんばり、成果や課題）に努める。</p> <p>② 教師間（学年間・教科・行事関係）の連携、情報交換を大切にして情報収集する。</p> <p>③ 生徒、保護者の見る側の立場に立った内容、構成を考え工夫する。</p>	
具体的な取組状況	<p>2月10日現在で、学校報34号、1年部報13号、2年部報は22号、2年C組だより39号、3年部報26号を発行している。各学年部報は、生徒の良さや頑張りを伝えたり、各種行事の予定や取り組みの様子を伝えるように工夫している。保健だよりは11号を発行。</p> <p>学校報では、全校にかかわることや各種大会、コンクール等の結果や活躍の様子、諸検査やアンケートの結果、課題などを提供している。</p>	
達成状況	<p>「学校報」、「2年部報」「3年部報」「保健だより」は発行の目標は達成できる状況にある。「1年部報」は目標に届かない状況である。</p> <p>内容面で、もう少し工夫できればと思う。</p>	



自己評価	(評価)	(根拠)	C
	B	<p>「1年部報」が30号以上の目標発行に届かない。他は目標をクリアできそうだ。</p> <p>内容面で、もう少し工夫が必要と思う。特に、多くの生徒の良さをもっと掲載するよう工夫できればよかった。</p>	

↑ 評価基準
A : 具体的な活動がなされ目標を達成できた
B : 具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない
↓ C : 具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない

学校関係者評価と意見	(評価)	(意見)	C
	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年部報の発行が少なかったようだが、チームでカバーする体制にしないとイケないのではないか。早めの改善策が必要であったと思う。 ・ 地域に回覧されているのでしっかりと地域に情報が伝わっている。 ・ 学校のホームページでも校報がみれるようになっているのでとてもよい。 ・ 発行部数が負担になっているとすれば目標の設定も考えてもいいのではないか。先生が目標部数を決めてもいいのではないか。 ・ 目標達成した先生の負担はどの程度だったのか。また、来年もできそうかなど、内容の評価などもしてもらい必要があるのではないか。 ・ 先生からの情報だけでなく、親からも参加してもらいましょう。 ・ A4サイズが見やすいと思う。 	

自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者コーナー、PTAコーナーなどを設け、内容の充実した広報活動を工夫する。 ・ 今後も自治会を通し地域への回覧をし、情報提供に努める。 ・ 校報については、発行部数にこだわることなく内容の充実に努める。 ・ サイズはA4版で、文字ポイントを12にし、地域のお年寄りが見やすいようにする。 	A
-----------------------	---	---